

# 健康寿命延伸へタッグ

## 弘大と花王、共同研究

弘前大学と日用品大手の花王(本社・東京)は14日、健康寿命の延伸について研究する「アクティブライフプロモーション学研究講座」を12月に共同で開設すると発表した。弘前市岩木地区で同大学が進めてきた健康増進プロジェクトのデータを活用するなど幅広い研究を通じ、ヘルスケアにつながる商品やサービスの開発などを目指していく。

設置期間は12月1日から3年間で、花王は年間3千万円を拠出、研究員を派遣

する。弘大が民間企業との共同研究講座を開設するのは初めて。大学院医学研究科内に置き、同科の中路重之教授らが中心となる。14日に花王本社で行われ

た開設式には、弘大の佐藤敬学長、花王の澤田道隆社長らが出席。中路教授は「健康づくり(の全体的な取り組み)は間口が広く、奥行きが深いので、一緒に取り組んでくれる企業を探していた。大きな力をもらった」と謝意を示した。

花王にとっても健康分野での大学との共同研究は珍



共同研究講座のプレートを手にする花王の澤田社長(左)と佐藤学長(右)＝14日、都内

しいという。澤田社長は「(単に)商品を出すだけでなく、いかに健康の大切さに気付いてもらうか」まで踏み込むべきだと思っ」と語り、健康に対する意識の浸透により新たなビジネスが創出される」と持論を展開。「講座での成果は、青森県だけでなく日本、世界に必ずや生きると思っ」と期待を寄せた。

花王は、弘大が国の採択を受け進めている革新的イノベーション創出プログラム(COI)に2015年から参画。内臓脂肪の測定や蓄積要因の解明、「スマート和食弁当」の考案などに連携して取り組んできた。(藤本耕一郎)